

1. 授業の基本情報

対象授業の「社会科教育法1」は、科目区分「教科又は教職に関する科目」に相当し、中学校（社会科）・高等学校（地理歴史科）の教員免許状取得に必要な科目である。本授業は、中学校社会科（地理的分野・歴史的分野）、高等学校地理歴史科の歴史、内容構成、授業構成について理解することで、中等社会科授業開発力の向上を目指すことを目的としている。この目的を果たすために、授業では社会科授業に関する理論とそれに基づく具体的な実践について考察を行ったうえで、授業開発・実践（模擬授業）を実際に起こった。本授業の登録学生数は法文学部30名、教育学部35名の合計65名だった。登録学生のほとんどが学部二年生だった。

2. 授業評価・授業研究の内容

授業評価を行うために①【知識・理解】、②【技能】、③【思考・判断・表現】、④【興味・関心・意欲】に関するアンケート調査を行った。なお、各質問に対して、「1とてもそう思う・2ある程度そう思う・3あまりそう思わない・4授業の目標・内容がこのDPとは無関係である」という四つの選択肢を設定し、2019年7月に調査を実施した。アンケート調査結果（回答数60）については次の通りである。

（1）知識・理解について

【質問内容】教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。

- 1 とてもそう思う 40名
- 2 ある程度そう思う 18名
- 3 あまりそう思わない 2名
- 4 授業の目標・内容がこのDPとは無関係である 0名

（2）技能について

【質問内容】教育活動に取り組むための十分な技能を身に付けている。

- 1 とてもそう思う 17名
- 2 ある程度そう思う 40名
- 3 あまりそう思わない 3名
- 4 授業の目標・内容がこのDPとは無関係である 0名

（3）思考・判断・表現について

【質問内容】教育現場で生じているさまざま

な現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。

- 1 とてもそう思う 40名
- 2 ある程度そう思う 17名
- 3 あまりそう思わない 3名
- 4 授業の目標・内容がこのDPとは無関係である 0名

（4）興味・関心・意欲について

教師としての使命感や責任感を持ち、自己の課題を明確にして理論と実践とを結び付けた主体的な学習ができ、自主的に社会に貢献しようとする。

- 1 とてもそう思う 38名
- 2 ある程度そう思う 20名
- 3 あまりそう思わない 2名
- 4 授業の目標・内容がこのDPとは無関係である 0名

3. 「地域社会を核にした教育と研究のつながり」について

本授業では、主に二つの取組を通して、「地域社会を核にした教育と研究のつながり」を具現化しようとした。第一に、愛媛大学教育学部附属中学校の社会科教諭を外部講師として招き、学校現場で求められる社会科授業についての事例紹介や指導案の作成方法に関して解説をしてもらった。これによって、教育現場で求められることについて理解させることができ、自分たちが今学んでいる（社会科の目標論を中心とする理論）が、学校現場でどのように活用することができるかを考えさせることができたと言える。第二に、地域教材の開発方法について具体的な授業事例を紹介しつつ提示した。愛媛のみかんや郷土の偉人などを題材とした授業を社会科のカリキュラムにどのように位置づけるかという点についても解説し、理解を深めるように指導した。

以上のような取組を行うことで、学生が社会科授業の開発力を育成することを目指してきた。このような取組によって、多くの学生に対して「教職に関する興味・関心・意欲」を喚起し高めることができた。今後は、授業開発のための技術（スキル）について、模擬授業を通してどのように育成していくのかという点を学生のニーズをふまえて追究していきたいと考えている。